大容量シリーズ HV-R120

# 広い空間をしっかり加湿

Plasmacluster プラズマクラスター25000 *1

## もっと使いやすくなった、NEW“どっちも給水”

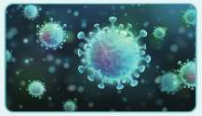
## 大容量加湿(1200mL/h)で大空間にうるおい

清潔設計

プラズマクラスター25000

シャープ独自の空気浄化技術、プラズマクラスター25000搭載。

約20分～3日後の効果です。約5～10畳相当の試験空間における実証結果であり、実使用空間での実証結果ではありません。使用場所の状況や使いかた、個人によって効果は異なります。


付着ウイルスの作用を抑える*2

付着カビ菌の増殖を抑える*3
(吹き出す風の当たらない部分の菌は抑制できません。)

お肌にツヤを与える*4

## 「プラズマクラスター」技術で実証している主な効果

●約25m²(約6畳)～約41m²(約10畳)相当の試験空間における約10分～約195分後の効果です。●プラズマクラスターイオン発生機器を用いた実証結果であり、実使用空間での実証結果ではありません。イオン濃度が同等であれば同様の効果が得られると考えられます。●使用場所の状況、使いかたによって効果は異なります。

浮遊カビ菌を除菌*5

浮遊ウイルスの作用を抑える*6

染み付いたタバコのニオイを消臭*7

静電気を抑える(除電)*8

*1 当技術マークの数字は、商品を壁際に置いて、HV-R120は連続「空気浄化」運転・ルーバー位置「中」時、HV-R75/R55/R30は「強」運転時、HX-RK12は暖房「強」+加湿運転時、HX-RS1は暖房または空気浄化「強」運転時に、プラズマクラスター適用床面積の部屋中央(床上1.2m)で測定した1cm³当たりのイオン個数の目安です。*2〈付着ウイルス〉●試験機関:(株)食環境衛生研究所 ●試験方法:約25m³の試験空間で日本電機工業会規格(JEM1467)の性能評価試験にて実施。●試験対象:付着した1種類のウイルス。■試験結果:約10時間で99%抑制。HV-R120の「空気浄化」運転で実施。*3〈付着カビ菌〉●試験機関:(一財)日本食品分析センター ●試験成績書:第22049401001-0101号 ●試験方法:約20m³(約5畳相当)の試験空間でJIS Z 2911を参考にして本体から約1m、高さ1mの位置で、カビ菌を付着させた試験片でカビ発育面積を比較。■試験結果:3日後に増殖を抑制。HV-R120の「空気浄化」運転で実施。*4〈お肌にツヤを与える〉●試験機関:(株)総合医科学研究所 ●被験者:21名(36～63歳女性) ●温度:約25℃、湿度:約45% ●試験方法:約10畳の試験空間で安静状態で目じりの肌水分量を測定。■試験結果:運転20分以後に肌にツヤを与える効果が確認された。KI-BX50(空気清浄機)の加湿空気清浄「中」運転で実施。*5〈浮遊カビ菌〉●試験機関:(一財)石川県予防医学協会 ●試験方法:約31m³(約8畳相当)の試験空間にプラズマクラスターイオンを放出し、浮遊カビ菌をエアーサンプラーにて測定。■試験結果:約195分で除去率99%。*6〈浮遊ウイルス〉●試験機関:ベトナム ホーチミン市 バスツール研究所 ●試験方法:約25m³(約6畳相当)の密閉した試験空間にウイルスを浮遊させ、プラズマクラスターイオンを放出。ウイルスを回収し、空気中のウイルス除去率を測定。●試験対象:浮遊した1種類のウイルス。■試験結果:約83分で99%抑制。*7〈タバコのニオイ〉●試験機関:当社調べ ●試験方法:約41m³(約10畳相当)の試験空間にて、タバコのニオイ成分を染み込ませた試験片で、消臭効果を6段階臭気強度表示法にて評価。■試験結果:約80分で気にならないレベルまで消臭。ニオイの種類・強さ・対象物の素材などによって、消臭効果は異なります。*8〈静電気除去〉●試験機関:当社調べ ●試験方法:約41m³(約10畳相当)の試験空間において、5kVに帯電させた試験板で、0.5kVまで除電するのに要する時間を測定。■試験結果:約10分後。

スタンダードシリーズ HV-R75／R55

# 給水もお手入れもカンタンに

Plasmacluster プラズマクラスター7000 *1

## 手軽で便利な、“どっちも給水”

清潔設計

操作部は抗菌、外れるパーツは丸洗いOK

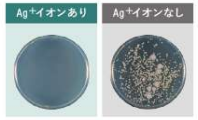
HV-R120／HV-R75／HV-R55／HV-R30共通 清潔・安全設計

Ag⁺イオンで 加湿の水までキレイに

トレーのヌメリやニオイの元となる水中の菌を抑制※7。

付属※ Ag⁺イオンカートリッジ 交換の目安1年に1回※8

※ HV-R120/R75/R55(HV-R30は同梱しておりません)。別売品は裏表紙をご覧ください。




◆試験菌液にAg⁺イオンあり/なしの水を入れて24時間後の生菌数を測定比較

清潔なSIAA抗菌操作部 SIAA ※1 ISO 22196 抗菌加工

信頼のS-JET認証取得※9

NEW 大容量タイプ <ハイブリッド式> HV-R120 オープン価格

-W(ホワイト系／プレミアムホワイト)

NEW ハイパワータイプ <ハイブリッド式> HV-R75 オープン価格

NEW レギュラータイプ <ハイブリッド式> HV-R55 オープン価格

-A(ブルー系／モイストブルー) HV-R75／R55共通

-W(ホワイト系／プレミアムホワイト) HV-R75／R55共通

コンパクトシリーズ

NEW パーソナルタイプ <気化式> HV-R30 オープン価格

●抗菌加工の操作部
●水まで洗いやすい広口タンク
●DCモーターでさらに省エネ※10

-W(ホワイト系／プレミアムホワイト)

| 形名 | 加湿の適用床面積(目安) | | 運転モード | 消費電力※11(50／60Hz) | 1時間あたりの電気代※12(50／60Hz) | 加湿量 | 運転音(50／60Hz) | 連続加湿時間 | タンク容量 | プラズマクラスター適用床面積(目安) | 加湿／給水方式 | 主な機能 | 外形寸法(幅×奥行×高さ)／質量／電源コード長さ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| HV-R120 | プレハブ洋室 | 33畳(55m²) | 強 | 735W | 約20円 | 1200mL/h | 41dB | 約5.8h | 約7.0L | プラズマクラスター25000 約10畳※13(約16m²) | ●ハイブリッド式 ●どっちも給水(上から給水／トレー給水) | ●温度・湿度のWセンサー ●静音自動運転(HV-R120) ●プラズマクラスター空気浄化運転 ●水位表示ランプ(HV-R120/R75/R55) ●水切れ検知装置(HV-R30) ●湿度表示ランプ ●お手入れランプ ●切タイマー ●フィルター乾燥(HV-R120/R75/R55) ●転倒自動停止装置(HV-R120/R75/R55) | 370×245×505mm 約8.5kg／約1.8m |
| | 木造和室 | 20畳(34m²) | 弱 | 15/18W | 約0.41/約0.49円 | 320mL/h | 30dB | 約22h | | | | | |
| | | | エコ(強) | 25/32W | 約0.68/約0.86円 | – | – | – | | | | | |
| HV-R75 | プレハブ洋室 | 21畳(35m²) | 強 | 335W | 約9.0円 | 750mL/h | 41dB | 約5.3h | 約4.0L | プラズマクラスター7000 約12.5畳※13(約21m²) | | | 272×220×455mm (突起部除く)／約5.2kg／約1.8m |
| | 木造和室 | 12.5畳(21m²) | 静音 | 12W | 約0.32円 | 200mL/h | 23dB | 約19h | | | | | |
| | | | エコ(強) | 34W | 約0.92円 | – | – | – | | | | | |
| HV-R55 | プレハブ洋室 | 15畳(25m²) | 強 | 190W | 約5.1円 | 550mL/h | 37dB | 約7.2h | 約4.0L | プラズマクラスター7000 約9畳※13(約15m²) | | | 272×220×455mm (突起部除く)／約5.2kg／約1.8m |
| | 木造和室 | 9畳(15m²) | 静音 | 12W | 約0.32円 | 200mL/h | 23dB | 約19h | | | | | |
| | | | エコ(強) | 24W | 約0.65円 | – | – | – | | | | | |
| HV-R30 | プレハブ洋室 | 8畳(14m²) | 強 | 9W | 約0.25円 | 290mL/h | 38dB | 約8.2h | 約2.4L | プラズマクラスター7000 約5畳※13(約8m²) | ●気化式 ●タンク式 | | 322×159×316mm／約2.8kg／約1.8m |
| | 木造和室 | 5畳(8m²) | 静音 | 2.5W | 約0.07円 | 145mL/h | 22dB | 約16h | | | | | |

◆加湿の適用床面積(目安)は日本電機工業会規格(JEM1426)に基づき、プレハブ住宅洋室の場合を最大適用床面積とし、木造和室の場合を最小適用床面積としたものです。ただし、壁・床の材質、部屋の構造、使用暖房器具などによって適用床面積は異なりますので、販売店にご相談ください。◆加湿量は日本電機工業会規格(JEM1426)に基づき、ハイブリッド式・ヒーターレス気化式の場合は20℃・30%のときです。ハイブリッド式・ヒーターレス気化式は、室内の温度・湿度によって加湿量が変化します。雨の日など湿度の高いときや室内の温度が低いときは水が気化しにくいため、加湿量は減少します。*1 SIAAマークはISO22196法により評価された結果に基づき、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。*2 ●試験機関:広東省微生物分析検測中心 ●試験方法:GB/T21551.2 ●抗菌方法:フィルターに抗菌剤を添加。■試験結果:99%以上抗菌。*3 ●試験機関:広東省微生物分析検測中心 ●試験方法:GB/T21551.2 ●防カビ方法:フィルターに防カビ剤を添加。■試験結果:菌糸の発育が認められない。*4 ●試験機関:(一財)ボーケン品質評価機構 ●試験方法:統一試験方法JIS Z 2801 ■試験結果:99%以上抗菌。●抗菌方法:フィルターに抗菌剤を含浸。*5 ●試験機関:(一財)ボーケン品質評価機構 ●試験方法:カビ抵抗性試験JIS Z 2911 ■試験結果:菌糸の発育が認められない。●防カビ方法:フィルターに防カビ剤を含浸。*6 定格加湿能力に対し加湿能力が50%に落ちるまでの期間。加湿フィルターは1日8時間の使用で約48ヵ月を目安(約6ヵ月の使用を1シーズンとして計算)に交換してください(2週間に1度お手入れした場合)。水質、使用環境によって交換時期は早くなることがあります。*7 ●試験機関:(一財)日本食品分析センター(試験番号:12085530001-01) ●試験方法:日本電機工業会自主基準(HD-133)性能評価試験にて実施 ●対象:水中の1種類の菌 ■試験結果:24時間で99%以上抑制。*8 1日あたり2.5Lを使用した場合の目安。水質・使用環境により交換時期が早まる場合があります。また、実使用環境での実証結果ではありません。